

令和2年3月27日

各小・中学校
社会科見学担当者 様

葛飾区郷土と天文の博物館
館長 高橋 裕之

葛飾区郷土と天文の博物館への社会科見学・校外学習について

日頃より当博物館の運営にご理解とご協力をいただき、有難うございます。

令和2年度の社会科見学・校外学習につきまして、下記の通りご案内いたしますので利用についてご検討いただけますようお願い申し上げます。

なお、昨年10月から進めている2階郷土展示室の一部改修は、今年6月末に工事を終了し、必要な準備を整えたのち、7月中旬にオープン予定ですことをご承知おき願います。

記

1 実施日

土曜日・日曜日・祝日・博物館休館日（月曜日・第2火曜日・第4火曜日・9月23日、令和3年2月24日）を除く開館日。

但し、改修期間（令和2年7月上旬まで）の間は2階郷土展示室を見学いただけません。

2 展示室の改修について

開館から30年近くが経過し、展示物の老朽化が見られることや、内容面についても一部の情報や意匠が古くなっていることから、郷土展示室の入口から始まる「かつしかと水」および「かつしかのあゆみ」エリアの改修を行っています。改修後は、葛飾区の歴史と文化を古い時代から順を追ってたどる編年展示となります。

3 展示内容等

(1) 郷土史分野の展示室見学（2階）

東京低地の成り立ちから現代まで、葛飾の歴史と文化について、時代を追ってわかりやすく展示いたします。詳細につきましては、夏以降に改めてご案内いたします。

「かつしかの暮らし」と「昭和30年代広場」エリアは改修前と同様に、葛飾の伝統産業、伝統工芸、農業、昭和30年代の民家と工場を展示します。

(2) 天文分野の展示室見学（3階）

ア フーコーの振り子（2階）

イ 天文展示室

月の満ち欠け、太陽の動き、太陽の通り道の星座、葛飾からみた宇宙、天の川の銀河紀行、太陽の構造、太陽と太陽系など宇宙についての映像、大アーミラリー、太陽望遠鏡（晴天時）など

(3) 博物館でできる具体的な学習内容

- ア 1、2年生生活科・・・町たんけん（葛飾区内の施設見学）、昔の遊び体験など
- イ 3、4、5年生向け・・・葛飾区の農業（下肥と葛西船）、地域の歴史
昭和30年代の暮らしなど
- ウ 6年生、中学校歴史分野・・・古代・中世・近世・近現代の様子などを、葛飾の視点から学習

4 入館料

20名以上の利用で、団体割引が適用されます(入館料が2割引かれます)。

入館料(展示室見学)：小・中学生50円(40円) 引率者100円(80円)

※()内は割引料金、プラネタリウムを観覧の場合は、別途観覧料がかかります。

※障がい者手帳をお持ちの児童・生徒は、本人と付き添い2名まで無料です。お申し込みの際にお伝えください。ご来館に際し手帳(コピー可)をお持ちください。

5 申し込み方法

4月15日(水)以降随時電話でのご予約を受けたまわります。希望日をご連絡ください。当館は、プラネタリウム見学で来館し、同時に館内展示見学を希望される団体も多く、児童・園児の安全確保の面から、希望される見学時間、駐車場利用等を考慮して調整をしておりますのでご了承ください。

お電話で予約日の確認後、「博物館見学予約表」をファクスでお送りください。

6 事前打ち合わせ・下見

当日の見学のポイントや流れなどを打ち合わせいたします。できるだけ実地踏査にお越しくください。ご希望の場合は、事前にご連絡ください。

7 その他

昼食場所や駐車場について

博物館講堂は飲食不可のため、雨天(雪)の場合及び猛暑・厳冬などの事情がある場合のみご相談を承っております。

2階展示室内モニターの更新について

展示室内に設置しているモニターを、令和2年度に改修する予定です。

見学には影響はございません。

8 問い合わせ・申込み先

葛飾区郷土と天文の博物館・教育普及担当 門 井

電話 03(3838)1101、FAX 03(5680)0849